

「(仮称)秋田市文化創造交流館運営管理計画(素案)」に寄せられた意見と本市の対応

期間 平成30年12月21日から平成31年1月21日まで

件数 提出者数34人(うち市民100人会会員33人)、意見数77件

分類	ご意見の要旨	本市の考え・対応
計画全般		
1	芸術関係で使うという結論ありきの興味のある人だけのワークショップでは、多くの市民にとってヒトゴトになっていたのではないか	芸術文化によるまちづくりの推進を念頭に置きつつ、ワークショップは幅広い市民に参加していただき、施設を使う当事者としての意見交換を通して、基本理念や事業計画をまとめました。今後の検討や運営の場面においても、より多くの市民に関心をもっていただけるよう工夫してまいります
2	計画を見ても、素晴らしい、楽しみだという気持ちが湧かない。市民のどれほどが興味を持ち、利用するだろうか、納得できるだろうか	文化創造交流館は、市民の文化創造活動や協働による体験交流の取組が人々をつないでいく場です。今後、プレ事業の実施等を通じて、展示や発表に特化した他の施設との違いを具体的にイメージできるようにしていきたいと考えています
3	この計画で関係者以外の人が集まるのか疑問。郊外の御所野のイオンに人が集まるのはなぜかを考えるべき	
4	ワクワク感を持ってない。鳴門市の大塚国際美術館などは、一度は足を運びたくなる。オンリーワンの文化施設にできないか	
5	充実した内容だと思うので、すべての人によく伝えられれば、多くの人が集まり、にぎわいのある場になると思う	
6	全面的に賛成	この素案に対する市民の意見を聞いて運営管理計画をまとめるとともに、計画内容の周知を図り、市民理解の促進に努めていきます
7	わかりやすく表現され、ワークショップやアドバイザー等の意見もこなれていて、ほとんど意見はさむ必要はない	
8	旧県立美術館の再生には大賛成で、微力ながら協力したい。計画倒れにならないよう、地道にこの案のスタンスを進めてほしい	
利活用方針		
9	文化を創り育てていくことは人や地域全体を高めていくうえでとても重要であり、個人的にも参加、支援したい	文化を通して創造性をまちづくりに生かすとともに、まちへの関係人口を増やし、より市民が愛着と誇りを持つまちにしたいと考えています。また、市民がまちに関わることで、まちなかに日常的な人の流れとにぎわいが生まれることも期待しています
10	運営のコーディネートや活動団体の参画は、広がりがあり、市民も参加することに大きな意味があると思う	

11	最大の目的と機能を失った建物に、無理矢理、別の機能を持たせ、お金をかけてまで残すことに意味があるのか	文化的価値の高い建物を市民共有の財産として残しつつ、旧県立美術館の建物や場のイメージ、立地環境を生かして、文化を創造し、市民が交流する施設として活用します。また、芸術文化ゾーンの他施設との役割分担と連携により相乗効果を生み出し、中心市街地のまちづくりに寄与したいと考えています
12	建物をどうしても利用したいのであれば、目玉商品を取り入れた商業施設とした方が客を呼べると思う	
13	このような機能の施設が本当に必要であるならば、改修するよりも新たに整備した方が結果的に使いやすいのではないかと	
14	多額の費用をかける必要があるのか疑問。周辺に一般開放スペースは多くあり、同じような役割の施設を増やす必要はないと思う	
15	なぜカフェが必要なのか。アトリオンは人もまばらで店も少なくなっているが、また、同じような施設を作るのか	
16	にぎわい交流館と印象が重なるので、最終的に違いを対比できるようにしてほしい	
17	県・市連携文化施設はじめ文化施設等が近隣に多すぎるので、特色のある文化創造交流館となることを期待している	
18	千秋公園の景観を損なうことなく旧県立美術館を活用する計画は、多くの市民が求めていることを考慮していると思う	千秋公園の景観にとけ込む旧県立美術館の特徴的な姿は、市民に親しまれてきた中心市街地のランドマークです。この建物をできるだけ長く活用しながら次世代への財産として引き継ぐことは、まちの原風景を市民共有の記憶として守り、未来へと継承し、まちへの愛着を生じさせるものと考えています
19	建物が活用されることは喜ばしい。好条件の立地を生かし、県外や国外からも広く来訪者を受け入れることを期待する	
20	旧県立美術館の建物が残ることを知ってほっとした	
基本理念・活動方針		
21	創造力を後押しするのはワクワク感からと思う	創造力とクリエイティビティは、ワークショップにおける市民の生の声を参加者が納得できるかたちにした言葉です。この基本理念を生かすため、より多くの人に文化創造交流館の役割や性格を理解していただけるよう努めます
22	各々が創造力と同時に想像力を養って精神的にも許容量を増やし、寛容な心を持つことができればと思う	
23	外国からの訪問者と市民の交流も「化学反応を生み出す」大きな刺激になると思うので、そうした視点での活動を取り入れてほしい	
事業展開		
24	これまで関わってきた専門性の高い人たちだけでなく、一般の人にも興味を感じるような企画が多くなることを期待する	文化創造交流館はすべての人に開かれた場であり、ワークショップ参加者等とのつながりを生かしながらも、プレ事業の企画・実施を通して幅広い市民の関心を高めていきたいと考えています
25	既存の交流館や市民サービスセンターと大差がないように感じたので、千秋公園や近隣も活用した独自のイベント等を期待する	様々な分野での現場経験を持つ運営チームと外部専門家により、地域に根付いた文化や県内外のクリエイター等とのネットワークを生かした自主企画事業の企画、市民企画事業のサポートなどにより、本施設ならではの事業展開を図ります
26	県内外の類似施設と差別化できる質の高い事業が看板倒れにならないよう期待する。ワークショップの提案を見ると期待感はある	

27	定期的なイベントが必要で、他の文化施設や埋蔵文化財センター、大学など、県・市の枠を越えた提携イベントを企画してほしい	美術系大学があるという本市の優位性を生かしつつ、クリエイティビティに関わる他の施設、団体とも幅広く連携していきたいと考えています
28	美大の取り組みは素晴らしいとは思いますが、美大の展示場化が主目的となってしまうのではないかと	
29	市民の多様な活動を、公共の場、日常へとにじみ出させるための呼び水が必要と思う。そこから次の反応が生まれるのではないかと	事業展開を通じて市民に内在するクリエイティビティを引き出し、施設内部にとどまらず、芸術文化ゾーンにつながり、市民協働によるまちづくりが日常的に行われる文化的・創造的な都市の実現をめざしたいと考えています
30	ワークショップで提案された企画のように、民俗芸能の担い手を育成して後世に伝えられたら良いと思う	
31	ファブラボのような施設を常設あるいは定期開催できると良い。作品を作る側のワークショップ等も実現できれば継続できると考える	
32	同人誌即売会、コスプレイベントなどのマニア向けの企画でも利用が可能かと	市民企画会議による企画事業の実施や持ち込み企画でのコーディネーターの活動支援により、市民を巻き込み、市民の創意工夫を生かして、まちに開かれた活動を促進し、市民により親しまれる施設としていきたいと考えています
33	ワークショップの提案はとてもよい。若者を呼び込めるライブやコミックマーケット等のイベントを1階でできるようにしてほしい	
34	秋田県の歴史や先人、観光地の紹介など、市民だけでなく、観光客にもまた秋田に来たいと思ってもらえる拠点となしてほしい	
35	ユニークな三角屋根の建物は市民にも親しまれているので、ライトアップして全国に誇れる光の芸術を実現できないかと	
36	活動に賛同する市民へのサポート体制があれば良い。副業のような形で参加できるスキーム等やそれをサポートする企業の表彰等	事業展開を通じて社会全体にご意見のような機運を醸成していくことができれば、企業等の理解を得ることもできるのではないかと考えます
37	ウェブサイトはぜひ充実してほしい。アーカイブの閲覧はもとより、インターネットを活用して県外からも参加できるようにしてほしい	
38	音楽公演やワークショップを実施するのであれば、ニコニコ動画やYouTubeLiveなどの配信ができる環境を備えてほしい	事業展開を図る上で情報発信力が重要となりますので、対象に合わせた発信手法や情報通信技術の活用など、様々な工夫をしていきたいと考えています
39	実際に事業を展開する時に、その場をつくり出す人の参加をどのように呼びかけ、足を運んでもらうかが課題だと思う	
40	市民に多く足を運んでもらえるように広報活動をしてほしい。千秋公園や旧美術館への愛着と誇りをうまく刺激して人を集めたい	
体制		
41	まちと積極的に関わる方針ならば、まちや周辺施設との接点を持つ手立てなどを中核チームの役割に加えてはどうか	芸術文化ゾーンにおける連携の拠点として役割を果たしていくことを運営管理計画の中で明示します

施設構成		
42	庭や景観を生かし、いつまでもそこにたたずんでいたいと思わせ、何度でも足を運びたくなるような場所となるよう期待している	本施設を直接利用する人以外でも気軽に立ち寄り、憩うことができ、まちに滞留できる場となるよう、屋外広場を含め、誰でも立ち入りやすく、憩うことができる開かれた空間とします
43	カフェやお堀に面したイベント・憩いの場ができること、大きな樹が残ることはうれしい	
44	お堀に面しているので、お堀と調和した機能を持たせてほしい	
45	ワークショップの提案企画「家族でお散歩」は良いと思った。一般市民が気軽にくつろげるカフェ等のスペースがあれば良い	
46	カフェスペースは、外国の人たちも安心して利用でき、若い人たちでにぎわうテナントが入ればよいと思う	
47	人を呼び込むため、1階の飲食・物販スペースを充実させてほしい。企画がないときでも人が入る店を入れてほしい	
利用規則		
48	全体的に特に問題はなく、ぜひ利用したいと思う内容だった。仕事をしている人にも利用しやすい開館時間、休館日を設定してほしい	これまで検討してきた施設利用のあり方をもとに、様々な利用のパターンを想定しながら検証し、適切な利用規則や使用料および減免制度の基本的な考え方を整理していきます
49	24時間365日使えるスタジオや作業場が必要。作品の展示以外に、制作中の様子を知りたい市民もいるのではないかと	
50	使用料を他のホールより安くしてほしい	
収支計画		
51	収支計画が非常に不安である	市民利用施設の性質上、一定の公的負担は必要と考えています。適正な受益者負担や自主財源の確保により、その軽減に努めていきます
52	財政面に若干曖昧さを感じるので、継続して維持できるような収入面の計画を練ることが必要ではないかと	
53	公的負担による投資期間は何年くらいと見込むのか。また、いつの時点で独立採算が見込まれるのか	
54	自主財源を増大して公的負担を減らすよう尽力してほしい	ご意見のとおり、自主財源の確保に向けた取組について様々な方法を検討したいと考えています
55	自主企画事業に対する企業協賛獲得のためには、企業側の理解を得やすい雰囲気づくりが必要と感じた	
56	早い時期に収支をプラスにできるよう運営方法を討議すべき。例えば、企業の出資や個人の寄付、納税制度などは考えられないか	

改修設計		
57	暗くて入りづらいので、柵を撤去したり、壁にガラスを使うなどして、明るいイメージの建物にしてほしい	県・市連携文化施設と向かい合う立地環境を生かすため、中土橋通り沿いの門や塀を撤去して開放的な外部空間とするほか、建物の壁面の一部をガラスにして活動が見える設計としています
58	建物に説得力があれば人は集うと思うので、以前の建物に負けない素晴らしいものにしてほしい	長年親しまれてきた建物の外観をできるだけ生かした改修をします
59	老朽化した建物に多額の税金を投入して、今後何年利用できるのか	昨年度、長期修繕計画を検討しており、期間を限定せず、可能な限り建物を生かして使い続けたいと考えています
60	東海林太郎像の移設予定場所は暗いので、敷地の西側か南側とするよう再検討が必要	外構整備等により、移設場所が暗い印象を受けることのないようにします
61	基本理念のキーワードである「創造力」を表現したシンボリックなアートが広小路から見える広場にあればよいと思う	ご提案のシンボリックなアートの設置は予定しておりませんが、今後の事業の中で検討できればと考えます
62	耐震基準に合わないので解体が検討されていたはずだが、どう補強するのか、建物内部に補強のための壁などは出てこないのか	既存建物の強度や安全性等を判定し、それをもとに建物の耐震性を高めるための補強工事を行います。補強工事はできるだけ外観に影響しない設計を検討しています
63	重い物を展示するための強度等は十分なのか	
64	1階から上階への動線が階段とEV1基のみでは不安があるので、外付けでもエスカレーターを設置してはどうか	垂直方向の動線は、バリアフリーの面を含めて、設計内容で十分であると考えています
65	音楽公演などを行うのであれば楽屋が必要であり、会議室や休憩室を使う場合でも、メイク台等を備えておく必要がある	専用の楽屋を設けることは困難ですが、設備や備品整備での対応を検討します
66	市内には中規模のスタジオが少ないので期待しており、スタジオAにイスを設置した場合の収容人員を知りたい	広さは約500㎡であり、イスの並べ方によりますが、収容人員は150人～200人程度と想定されます
67	説明や案内は、多言語表記だけでなく、どの年代にもわかりやすくし、興味が湧くようなものにしてほしい	ご意見を参考に検討します
68	駐車場がなければ行くことを躊躇する人が多いので、駐車場の確保はもっとも重要な問題である	
69	カフェ利用者やイベント等の来場者に対応するには駐車場が狭すぎるので、駐車場の拡張を検討してほしい	自家用車の利便性の向上が求められる一方で、自家用車に頼れない人の公共交通機関の利用など、自家用車だけに依存しない環境を整えていくことも、まちづくりに必要な視点です。駐車場については、中心市街地全体で見れば現時点で相当の駐車可能台数があります。近隣の駐車場から少し歩いていただくことも、まちのにぎわいづくりには必要なことではないかと考えています。なお、敷地内の駐車場は、主に、搬入作業等を行う利用者や高齢者等が使用することを想定しています
70	駐車場が狭すぎるので、千秋公園の周辺や地下に広大な無料駐車スペースを用意できないか	
71	ぜひ利用したいが行く手立てがない。車社会の秋田では交通網や駐車場の整備が不可欠だと思う	
72	駐車台数が7台ではゆっくり過ごすことはできない	

その他		
73	全体的に文字の羅列で内容が分かりづらく、図やイラスト等により読み込まなくてもわかるようにしてほしい	運営管理計画を市民に広く周知していく際は、感覚的にわかりやすいものとなるよう工夫したいと考えています
74	「芸術文化ゾーン」について、近い将来、非公式でもよいがもっと柔らかい別の呼び名をつけた方がよいと思う	市民が芸術文化ゾーンに足を運び、なじむよう、まずは、芸術文化ゾーンの一体感を生み出していきたいと考えています
75	誉田慎一が2010年に撮影した、19名の小学生が一行に並んで「秋田の行事」に見入っている写真を説明する場がほしい	事業展開を図る中で、県立美術館と連携して建物の歴史を振り返る取組を実施できればと考えます
76	建物の中で何をするかは二の次で、車社会の秋田では、動線の確保が第一にクリアすべきまちづくりの問題だと思う	<p>今後は、公共交通機関を活用し、自家用車だけに依存することのない環境を整えていく必要もあります。まちづくり全体を考える中で、中心市街地の公共交通のあり方について検討を進めています</p>
77	無料又は安価な大駐車場がない千秋公園で人を集めるのは困難なので再考してほしい。施設の入口までの循環バスは必要	